



平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月3日

上場会社名 ピジョン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7956 URL http://www.pigeon.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 松永 勉 TEL 03-3661-4188
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績（平成25年2月1日～平成25年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	16,895	17.8	1,913	35.9	2,187	36.1	1,328	26.4
25年1月期第1四半期	14,345	10.0	1,408	105.4	1,607	119.0	1,050	211.3

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 2,727百万円 (54.0%) 25年1月期第1四半期 1,771百万円 (354.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	66.36	—
25年1月期第1四半期	52.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第1四半期	50,275	33,624	65.4
25年1月期	48,538	32,365	65.3

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 32,860百万円 25年1月期 31,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	44.00	—	71.00	115.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	61.00	—	61.00	122.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 連結業績予想（平成25年2月1日～平成26年1月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	12.9	7,800	10.1	7,800	5.6	4,850	6.0	242.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期連結会計期間より減価償却費方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しています。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年1月期1Q	20,275,581株	25年1月期	20,275,581株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	262,273株	25年1月期	262,109株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年1月期1Q	20,013,352株	25年1月期1Q	20,013,885株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府、日銀による大規模な金融緩和策の効果もあって、為替相場では急速な円安が進行し、株式相場も大幅に上昇したことにより、デフレ状況からの明確な脱却には至っていないものの、企業収益や個人消費は改善傾向が見られております。一方で、欧州諸国における財政、通貨不安や中国における経済成長率の鈍化、また、円安の影響による輸入資材、燃料および農産物の価格上昇に伴う国内景気の下押しリスクが依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「第四次中期経営計画（平成24年1月期～平成26年1月期）～GLOBAL Companyとしての自立～」の最終年度として、この中期経営計画における基本方針に基づく重点課題を次のように定めております。

i) 国内ベビー・ママ事業

- ・ 新製品投入による大型商品事業の確実な成長・拡大
- ・ 「1才半からのピジョン」シリーズおよび「女性ウェルネス」分野等新規分野の確立

ii) 子育て支援事業

- ・ 保育品質のさらなる向上と事業の効率的な運営

iii) ヘルスケア・介護事業

- ・ 施設ルート中心の営業活動強化等、事業体制の再構築と収益性向上
- ・ 重点商品群を軸とした成長戦略の徹底

iv) 海外事業

- ・ 中国市場：新規事業分野商品の確実な市場投入および、協力病院の増加等による一層のブランド力強化
- ・ 欧米市場：新製品の市場投入およびブランド（mOmma他）の浸透
- ・ 市場拡大：インド・マレーシア・韓国などの成長と新規市場参入

当第1四半期連結累計期間（平成25年2月1日～平成25年4月30日）におきましては、この課題に取り組んでまいりました結果、売上高は、中国を中心とした海外事業における順調な業績拡大に加え、円安の影響もあり、168億95百万円（前年同期比17.8%増）となりました。利益面におきましては、増収に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼動向上により、売上原価率が前年同期比で約1ポイント低下したことなどで、営業利益は19億13百万円（前年同期比35.9%増）、経常利益は為替水準が想定よりも円安で推移したことに伴う為替差益の計上により営業外収益が増加したため21億87百万円（前年同期比36.1%増）、当期純利益は13億28百万円（前年同期比26.4%増）と、それぞれ前年同期実績を大きく上回りました。

当社グループの報告セグメントは「国内ベビー・ママ事業」、「子育て支援事業」、「ヘルスケア・介護事業」および「海外事業」となっており、各区分における概況は以下のとおりです。

「国内ベビー・ママ事業」

当事業の売上高は、新商品の積極的な市場投入の効果もあって、59億51百万円（前年同期比9.0%増）となりました。セグメント利益は、新商品の発売に伴うマーケティング活動により販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、7億85百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

当事業におきましては、ピジョン独自のハグットシートを装備した赤ちゃんの快適さを追求したベビーカー「Mahalo(マハロ)」、防ぐ・おとす・うるおす、の3ステップで赤ちゃんのUV対策ができる「UV babyシリーズ」6種類、体によい素材使用のベビーおやつ「元気アップカルシウムシリーズ」6種類、さらにはママの好みに合わせて選べる新しい3つのデザインからなるピジョン哺乳びん「母乳実感」シリーズなどを発売しております。また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、当四半期連結累計期間において出産前の方を対象とした「プレマクラス」、出産後の方を対象とした「ママクラス」などを開催し、合計で約700名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援する「クチコミ コミュニティサイト」である「ピジョンインフォ」の会員数は、新規加入会員の獲得により、順調に増加しております。

「子育て支援事業」

当事業の売上高は16億77百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は採用費用など販売費及び一般管理費

の増加などにより、前年同期実績をやや下回る23百万円（前年同期比10.3%減）となりました。なお、事業所内保育施設につきましては、4月に3箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、順調に売上を拡大しております。

「ヘルスケア・介護事業」

当事業の売上高は消耗品を中心に市場環境が厳しさを増し、16億53百万円（前年同期比5.8%減）となりました。セグメント利益は、効率的な事業運営に努めたことで販売費及び一般管理費が減少し、85百万円（前年同期比14.8%増）となっております。引き続き、重点カテゴリに絞った研究の深耕による商品の上市を目指し、また、施設ルートを中心とした営業活動を行ってまいります。

「海外事業」

当事業の売上高は73億27百万円（前年同期比39.3%増）となりました。セグメント利益は、事業の積極的展開に伴う諸施策により販売費及び一般管理費が増加したものの、18億58百万円（前年同期比63.7%増）となりました。中国におきましては、マーケティング、販促普及活動の強化に加えて、新商品の継続的な市場投入が奏功し、売上高は前年同期実績を大きく上回りました。さらに、中国国内の生産拠点2箇所におきましても順調に生産を拡大しております。また、インドにおきましては、引き続き当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しており、今後は、販売・流通体制のさらなる強化を目指すとともに、商品供給体制の整備を図ってまいります。北米におきましては、引き続き商品カテゴリの拡充などによるさらなる事業拡大を目指しております。

「その他」

当事業の売上高はOEM商品の受注増加により、2億85百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は、売上原価率の上昇により33百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は502億75百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億37百万円の増加となりました。流動資産は26百万円の増加、固定資産は17億10百万円の増加となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が27億34百万円減少したものの受取手形及び売掛金が11億34百万円、商品及び製品が10億37百万円増加したことによるものです。

固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産が16億28百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は166億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億77百万円の増加となりました。流動負債は2億85百万円の増加、固定負債は1億92百万円の増加となりました。

流動負債の増加の主な要因は、短期借入金が9億19百万円減少したものの支払手形及び買掛金が9億94百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、336億24百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億59百万円増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

「第四次中期経営計画～GLOBAL Companyとしての自立～」におきましては、国内ベビー・ママ事業における商品カテゴリの拡充や新規事業の拡大、更には、ヘルスケア・介護事業における重点商品カテゴリの深耕と新規販売チャネルの開拓等により、既存事業分野における収益性向上と新規商品分野および販売チャネルへの拡大を目指しております。また、海外事業におきましては、積極的な事業投資による生産体制の拡充と事業運営体制の強化を図りながら、中国、北米等の既存市場において、商品カテゴリの拡充等により、一層、市場を深耕させ事業拡大を実現するとともに、インド、中近東、韓国、中南米等において積極的な市場開拓を推進することを目指しております。当連結会計年度は、この「第四次中期経営計画」最終年度として、次のように基本方針を定めており、確実な計画達成に向けて邁進いたします。

(基本方針)

1. 第四次中期経営計画の最終年度として、各事業戦略・機能戦略と、これまでの施策・業績の進捗状況を再検証し、課題解決を図ることによって、同中期経営計画の達成を目指す。
2. 新規事業計画、新商品計画を確実に実行、達成することにより、次期中期経営計画におけるグループ事業のさらなる成長・拡大につなげる。
3. 「グローバル・カンパニーとしての自立」を目指し、「グローバル人材」の育成に注力するとともに、海外市場を中心としたグループ事業のさらなる拡大に対応した、組織体制の見直しとバランスのとれた経営資源の配

分を行う。

なお、当社グループの通期業績予想につきましては、平成25年3月4日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,574,326	7,840,207
受取手形及び売掛金	10,540,939	11,674,955
商品及び製品	4,816,217	5,853,590
仕掛品	167,286	220,914
原材料及び貯蔵品	1,792,836	1,863,153
その他	1,228,961	1,699,104
貸倒引当金	△17,213	△21,616
流動資産合計	29,103,354	29,130,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,221,403	5,882,144
土地	6,015,064	6,068,674
その他(純額)	4,971,671	5,886,295
有形固定資産合計	16,208,139	17,837,114
無形固定資産		
のれん	551,572	534,305
その他	624,561	626,091
無形固定資産合計	1,176,134	1,160,397
投資その他の資産		
その他	2,104,885	2,201,818
貸倒引当金	△53,692	△53,694
投資その他の資産合計	2,051,193	2,148,123
固定資産合計	19,435,468	21,145,635
資産合計	48,538,822	50,275,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,864,039	4,858,974
短期借入金	1,389,610	470,250
1年内返済予定の長期借入金	26,327	27,360
未払法人税等	1,134,047	706,919
賞与引当金	606,257	1,019,525
返品調整引当金	44,824	58,046
その他	4,550,833	4,760,174
流動負債合計	11,615,940	11,901,249
固定負債		
長期借入金	2,204,365	2,200,000
退職給付引当金	319,324	330,143
役員退職慰労引当金	389,764	276,808
その他	1,644,056	1,943,066
固定負債合計	4,557,510	4,750,018
負債合計	16,173,451	16,651,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,199,597	5,199,597
資本剰余金	5,180,246	5,180,246
利益剰余金	22,686,099	22,593,269
自己株式	△450,289	△451,156
株主資本合計	32,615,653	32,521,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,644	65,971
為替換算調整勘定	△970,653	272,534
その他の包括利益累計額合計	△944,008	338,505
少数株主持分	693,726	764,213
純資産合計	32,365,371	33,624,676
負債純資産合計	48,538,822	50,275,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
売上高	14,345,647	16,895,717
売上原価	8,249,510	9,532,677
売上総利益	6,096,136	7,363,039
返品調整引当金戻入額	60,072	46,037
返品調整引当金繰入額	56,829	57,599
差引売上総利益	6,099,379	7,351,478
販売費及び一般管理費	4,691,245	5,438,060
営業利益	1,408,134	1,913,417
営業外収益		
受取利息	12,379	26,027
持分法による投資利益	15,479	18,795
為替差益	214,211	248,794
その他	39,274	54,429
営業外収益合計	281,344	348,046
営業外費用		
支払利息	19,766	8,029
売上割引	52,726	57,076
その他	9,170	8,592
営業外費用合計	81,663	73,697
経常利益	1,607,815	2,187,766
特別利益		
固定資産売却益	2,827	2,179
特別利益合計	2,827	2,179
特別損失		
固定資産売却損	31	31
固定資産除却損	1,186	5,219
特別損失合計	1,218	5,251
税金等調整前四半期純利益	1,609,423	2,184,695
法人税、住民税及び事業税	659,811	681,028
法人税等調整額	△130,420	146,339
法人税等合計	529,391	827,368
少数株主損益調整前四半期純利益	1,080,032	1,357,326
少数株主利益	29,312	29,200
四半期純利益	1,050,719	1,328,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,080,032	1,357,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,734	39,326
為替換算調整勘定	684,337	1,331,056
その他の包括利益合計	691,071	1,370,383
四半期包括利益	1,771,103	2,727,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,697,966	2,610,641
少数株主に係る四半期包括利益	73,137	117,069

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	国内ベビ ー・ママ 事業	子育て支援 事業	ヘルスケ ア・介護 事業	海外 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,459,371	1,593,802	1,756,065	5,259,318	14,068,558	277,089	14,345,647	—	14,345,647
計	5,459,371	1,593,802	1,756,065	5,259,318	14,068,558	277,089	14,345,647	—	14,345,647
セグメント利益	836,876	26,243	74,229	1,135,262	2,072,611	37,873	2,110,485	△702,351	1,408,134

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社の生産子会社が、当社グループ外への製造販売を行っているものを含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、全て配賦不能営業費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	国内ベビ ー・ママ 事業	子育て支援 事業	ヘルスケ ア・介護 事業	海外 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,951,750	1,677,647	1,653,422	7,327,340	16,610,160	285,556	16,895,717	—	16,895,717
計	5,951,750	1,677,647	1,653,422	7,327,340	16,610,160	285,556	16,895,717	—	16,895,717
セグメント利益	785,913	23,544	85,221	1,858,638	2,753,317	33,838	2,787,156	△873,738	1,913,417

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社の生産子会社が、当社グループ外への製造販売を行っているものを含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、全て配賦不能営業費用であり、その主なものは、当社の管理部門等に係る費用です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。